

○按ズルニ、言靈ノ事ハ、文學部國語學篇ニ載セタリ、

〔類聚名義抄〕五言魚韃反、詞音辭ハ、語魚舉反、和コ

〔伊呂波字類抄〕古事詞コトハ、辭正作辭、進謝慶差論、言直言曰言、語辭コトハ、

話辭達也、諺是也、

〔運步色葉集〕古言葉 詞 辭

〔日本書紀〕神代是後高皇產靈尊、更會諸神、選當遣於葦原中國者、略中此神武甕槌神進曰、豈唯經津主

神、獨爲丈夫、而吾非丈夫者哉、其辭氣慷慨、

〔藻鹽草〕人事十六詞略中

詞玉ことばをほめ ことば ことばの玉 こと葉のたね いふことこの葉 ちゞのことのは

ことこのはの花 ことこのは草 やちくさのことのは毎に なげのことのはの露 ことのは

はなげなる物 のこることのは ことのはのちり

〔倭訓栞〕前編九ことのは。言の葉の義也、詞をことばといふも同じ、言詞は繁くさか行をもて葉

といへり、

〔後撰和歌集〕戀十人の心かはりにければ

右近

思はんとたのめし人はありときくいひしことのはいつちいにけん

〔伊呂波字類抄〕人事言直言曰言、答難曰語、

〔倭訓栞〕中編二十六ものいふ 古事記に物言と見え、神代紀に言語をよめり、古今集にもものらい

ひけるとも見ゆ、

〔日本書紀〕神代然彼地葦原中國多有螢火光神及蠅聲邪神、復有草木成能言語、

〔古事記〕其建御名方神、千引石擊手末而來言、誰來我國而忍忍如此物言、